

製品名: NABC1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21198**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW::Observed MW:64kD

抗原情報

遺伝子名	BCAS1;AIBC1;NABC1
別名	BCAS1;AIBC1;NABC1;Breast carcinoma-amplified sequence 1 ;Amplified and overexpressed in breast cancer;Novel amplified in breast cancer 1;
遺伝子 ID	8537.0
SwissProt ID	O75363
免疫原	ヒト NABC1 の合成ペプチド

背景

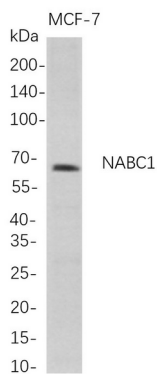
細胞局在: 細胞質。この遺伝子は、様々な腫瘍種で増幅し、より悪性度の高い腫瘍表現型と関連する 20q13 領域に局在する。この領

域から同定された遺伝子のうち、増幅が認められた3つの乳がん細胞株と、20q13.2で増幅が認められなかった1つの乳がん細胞株で、この遺伝子が高発現していることがわかった。しかし、この遺伝子は最大増幅が共通する領域には存在せず、この領域が高増幅している乳がん細胞株 MCF7 では発現が検出されなかった。この遺伝子は一貫して発現しているわけではないものの、がん遺伝子候補である。[RefSeq 提供、2016年4月]

研究分野

-

画像データ



MCF-7 全細胞ライセートのウェスタンブロット解析では、4~20% SDS-PAGE で分離し、メンブレンを抗 NABC1 ウサギモノクローナル抗体でプロットングした。抗体の検出には、HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。